

令和 7 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 F

## 令和7年度英語 F 出題の意図

### I

#### (A)

コペンハーゲンの港湾地区再開発に関する雑誌記事の一節をとりあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力をみる。開発の前後で何がどう変化したかを正確に理解し、分詞構文や which を用いた複雑な文を自然な日本語に置き換えることができるかがポイントになる。

#### (B)

同じ記事の後半部分から庭園と遊歩道の描写をとりあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力をみる。features、vegetation、expansive などの平易な語句を文脈に合う日本語で置き換え、with や分詞構文、倒置を含む複雑な文を自然な語順の日本語にまとめることができるかがポイントになる。

### II

「変化し多様性を増してゆく英語は将来的に言語としての統一性を保つことができるか」というテーマをめぐる相当な長さでやや専門的な内容の英文を読み、その内容や要点を明確に読み取り理解できているかどうかをみる問題である。筆者の主張の具体的内容やその根拠を本文中から探し出し、要点を簡潔にかつ自然な日本語でまとめて述べる力が問われる。単に語句や表現を機械的に日本語に置き換えるのではなく、英文の意味するところを、前後の文脈もあわせて総合的に推測し理解できているかがポイントになる。

### III

今の世の中で最も不足していると感じるものは何か、そう感じる理由は何か、そしてその不足を補うために何ができるのかについて、指定された語数の英語で自分の考えを述べる問題である。語彙力、構文力に加えて、自らの考えを論理的に構成された英文で明瞭に書く力を評価する。

### IV

「近年の世界の若者に共通してみられるライフスタイルの変化」について書かれたこなれた日本語を、表現方法（語彙力を含む）、文法的正確さ、英語としての自然さ、全体の構成などに注意を払いながら、柔軟かつわかりやすく英語に置き換えて表現する能力が必要とされる。逐語訳ではなく、文脈や語句の意味の細かなニュアンスを考慮して英語らしい文章で表現できるかが特に問われる。普段から英語学習において、日常的なことがらについて、上記のポイントを押さえた上で実際に英文を書いたり発信したりする訓練を十分に行っていることが重要である。

### V

「終夜営業するスーパーマーケットが増加する理由」についての 500 語程度の英文を聞き、その内容や情報、要点（終夜営業にかかるコストとそれによって得られる利益など）を整理しながら理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている部分の情報を正確に聞き取り、要点

を的確にまとめる能力が求められる。普段から英語学習において、ある程度の長さの平易な英語の音声に親しみ、そのまま英語で理解する訓練を十分に行っていることが重要である。